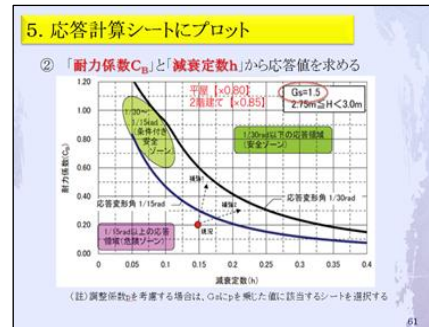


伝統構法も正しく評価

伝統構法も正しく評価					
コース名	伝統的構法住宅における耐震設計・改修技術				
コース番号	6H202	日程	11/5(金), 12(金)	時間	9:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクセンター島根(松江)	受講料	¥8,000
訓練目標	木質構造設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けて耐震性のある建築物、耐震設計実習を通して、伝統的構法住宅の耐震診断における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。				
対象者	木造在来構法の設計業務に従事し、伝統工法の良さを活かした耐震評価をしたい方にお勧めします。 (木造の設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	<p>1. 伝統構法</p> <p>(1) 伝統的構法(古民家)の特徴</p> <p>(2) 伝統的構法(古民家)の構造特性</p> <p>(3) 伝統的構法の設計ルート</p> <p>2. 耐震設計</p> <p>(1) 伝統的構法に使用する材料</p> <p>(2) 伝統的構法の荷重・外力</p> <p>(3) モデル化と構造設計 (4) 限界耐力計算法の概要</p> <p>(5) 各部位の特性 (6) 接合部の特性</p> <p>(7) 経年変化と耐久性 (8) 設計実習</p> <p>3. 事例紹介</p> <p>(1) 限界耐力計算による設計例</p> <p>(2) 限界耐力計算による耐震改修例</p>				
使用機器	パソコン、電卓				
持参品	筆記用具、関数電卓				



(資料例)

〈実験・実習室〉製図室

